attac另類（リンレイ）中国研究会　　2022年11月23日

中国農民工　iPhone 工場からの大脱走

「党の 20 回大会を歓迎し、永遠に党と一緒に進み、新たな長征に邁進しよう」の電光掲示板の文字のしたで、フォックスコンから大脱走し故郷への長征を敢行する農民工たち。

- mastodon など SNS で「大逃走」の映像が拡散
- ルポ『鄭州フォックスコンからの逃走：コロナが引き裂いた二つの世界』
- フォックスコン鄭州とスマホのサプライチェーン
- その後
- アップルに事実と補償をもとめる国際署名

mastodon など SNS で「大逃走」の映像が拡散

https://mastodon.social/tags/%E5%AF%8C%E5%A3%AB%E5%BA%B7

ルポ『鄭州フォックスコンからの逃走：コロナが引き裂いた二つの世界』

端傳媒 initium media 2022-11-7 奕冬 https://bit.ly/3Owms1t

羅珊（ルオシャン）
22 年 9 月からで働き始めた見習工

李暁楠（シャオナン）
徒歩で 35 時間かけて故郷に帰る

陳秋梅（チウメイ）
45 キロ離れた故郷に帰る

任強（レンチアン）
75 キロ離れた高速チェックポイントの管理ボランティア

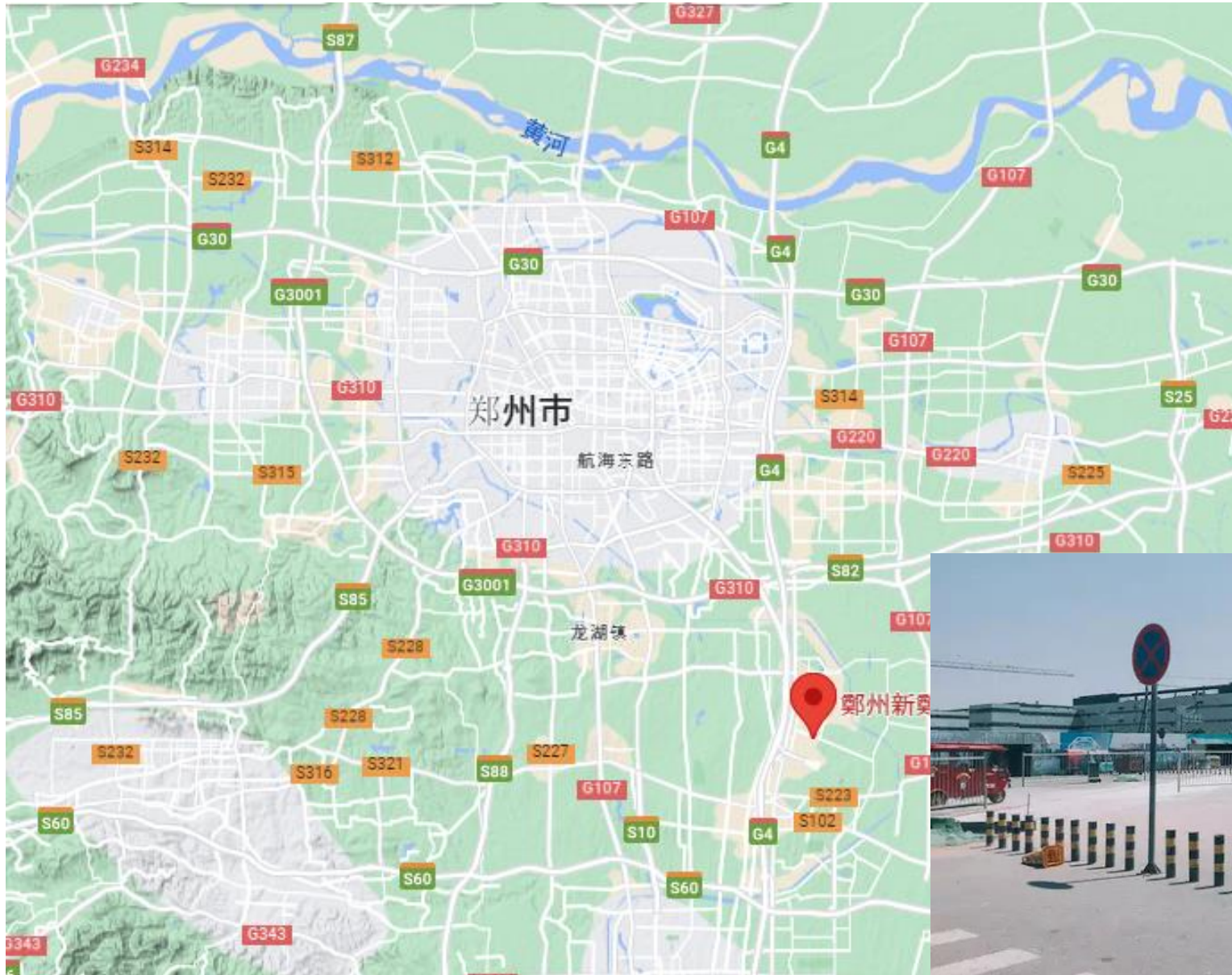
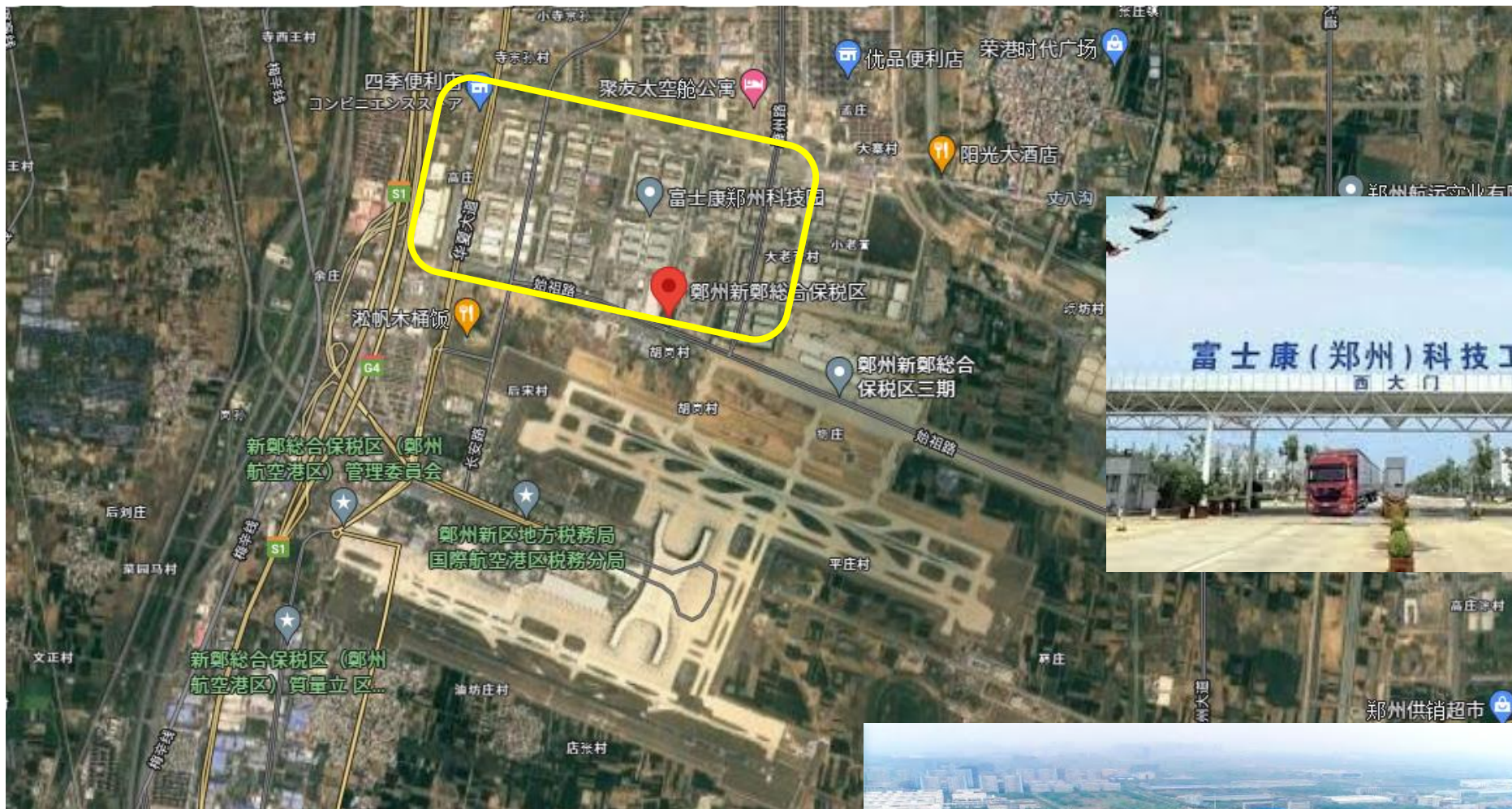
鄭州富士康「逃疫」潮：工廠內外，被疫情撕裂的兩個世界

- フォックスコン foxconn 富士康
- 鴻海精密工業（ホンハイ、親会社、台湾）
- ホンハイの英語名称は
  Foxconn Technology Group　ややこしい
  例：松下グループ、パナソニック

河南省：人口 9963 万人（全国 3 位、2020 年）　　　**鄭州市 1274 万人（2021 年）**

2021 年 7 月　河南省大洪水
3000 万人が被害、死者 400 人余り
写真は鄭州市内

2022 年 7 月　農村銀行預金引き出し禁止に抗議した預金者たち。警察による暴力的排除がおこなわれたが、その後、金融当局関係者ら 234 人が逮捕された

●フォックスコン鄭州

フォックスコン鄭州には三つの工場がある。

鄭州空港工場（総合保税区内で一番大きな工場）

560 万平米、20 万人の労働者が周辺 8 つの
宿舎エリアに住む（小さな県＝町規模）
保税区工場の労働者の宿舎は 12 の地域（社区）
に分かれ、各区にすくなくとも 3 棟の宿舎。

ルオシャン
羅珊：フォックスコン鄭州の見習工の場合

2022 年 9 月から工場に入る。iPhone 14 pro の組み立て。毎日 5000-6000 台のケースをあつかう。仕事は朝 7 時から夕方 4 時まで。ふつうはさらに 2～2.5 時間の残業。これで見習工のルオシャンは 5000 元ほど給料だった

時給工：24.5 元／時間（時給 500 円ほど）

返費工（皆勤賞ボーナス支給）：基本給 2000 元＋残業代
90 日間で 55 日働くと 7000 元のボーナス支給

時給工、返費工ともに派遣会社を通じて入社。

労働者は子育て世代から 00 年代生まれの若者世代まで

定着率は低く、やめても戻ってこない。

- 10 月 1 日国慶節：従来通り 3 日休暇で休み明けから陽性者が徐々に。他のエリア、隣の宿舎、同じ宿舎の別の部屋。
- PCR は 10 人一緒の試験官検査で、一人陽性だと全員隔離。
- ルオシャンの寮のある社区は感染者が多かった地区。
- 10 月 14 日から全工場のバブル（泡）内管理開始。薬局、店舗は閉鎖、外部と隔離。
- 「外部と隔絶され、感染しないように自分で気をつけるしかなかった」と涙ながらに。
- 「鄭州フォックスコンが、テスト地区となってコロナを二級感染症にするといううわさ」

- 10 月 16 日に PCR 検査を受けたが同じ試験管で陽性者が出たので 2 週間隔離された。当初は宿舎での隔離だったが、10 月 24 日から、恒大グループの運営する「転居準備房」(都市開発で転居する住民向けの住宅)に移された。12 人部屋。
- 「感染そのものよりも、隔離されて薬など買えなかったのが怖かった」
- 10 月 31 日深夜 12 時、200 人がタイベックスを着て宿舎の下に集まって隔離されていった。
- 10 月 31 日、鄭州市衛生当局が「コロナは治療可能な病気で恐れることはない」という通達。この 2 年ほどの説明と違っていたので、労働者は慌てる。
- 10 月まではルオシャンのラインは 370 人の職場だったが、10 月下旬から隔離で人が減り始め、10 月 31 日は 50 人までに減った。毎日、前日の残り作業をしていた。

李暁楠（リ シャオナン）

35歳。フォックスコン鄭州から45キロ離れた開封市尉氏県の村に夫と二人の子どもを置いて出稼ぎに。毎年いろいろと出稼ぎに出ていたが、今年夏はじめてフォックスコンに。この10月までは「フォックスコンには感謝している。私のような農村出身者にも安定した収入をもたらしてくれたのだから」。

- 10月14日に日勤を終えた後にバブル化を知る。職場の荷物をすべて宿舎に持ちかえって待機するよう通知を受ける。8人部屋なので蜜になるので帰りたくなかったが（つまり逃避行？）、シャオナンは、あと3カ月で契約満期の賃金が支払われることになっていたので、寮に戻って待機した。工場から寮に戻る道はすべて外部と隔離されていた。
- 10月19日、工場の食堂が使用禁止に。食事は工場から寮まで食べに戻る。片道1時間かかる。普通は昼休み1時間だが、3時間になった。ただ夜は8時半まで仕事時間が延長された。シャオナンは毎日往復2時間半かけて歩いて出勤。
- PCR検査も10人一緒から1人ずつへ変更。10/10から毎日検査、10月19日から宿舎の建物ごとに検査ポイント設置。10月21日から「PCRと抗原検査」の一日二回検査になった。しかし人が多いので、寮の下で検査するのに1～2時間並ばないといけなかった。仕事の後では大変だった。

- 10 月 26 日、会社から「２万人が感染」はデマだという発表。
- 10 月は 21 日連続勤務。なぜそうなったのか誰も説明はしない。
- 10 月 30 日の夜 10 時、仕事から戻り、PCR 検査の後、寮に戻ると「いま逃げないと出られなくなる」というはなし。軍隊が駐留するという話も。10 時間近くの労働の後でへとへとだったが、あわてて逃げる準備をして、未明 3 時に家路へと出発した。真っ暗な中で誰一人いないと思っていたが、あちこちに逃避行をする労働者がいた。
- 高速道路沿いに実家へ向かったが 3 回チェックポイントで足止めされ、そのつど別の道を探して進んだ。幹線道路も封鎖されていたが、同じように抜け道を探したりする人たちと情報を交換して進む。
- 35 時間かけて 10 月 31 日午後２時に、実家にたどり着く。連続 21 日勤務で 10 時間労働の後の逃避行だったので、到着した日の午後 7 時に寝て翌日 11 月 1 日のあさ 7 時まで 12 時間寝た。「生き返ったよう」。

レン チアン

任 強

フォックスコン鄭州から 70 キロほど離れた高速道路でのコロナ検疫ポイントのボランティアスタッフ。10 月 28 日からボランティアとして携わる。

- もとからの高速道路の現業職員らは、簡易隔離病棟の建設などに駆り出されていた。ボランティアの勤務時間も通常の 3 倍。あさ 9 時から翌日午後 4 時まで。
- 10 月 29 日午後 3 時ごろ、フォックスコンの方から来たと思われる農民工らが姿を見せ始める。どこから来たのかと聞いても「実家に帰るだけ」としか答えない。
- 「彼女らが帰るのを邪魔したくはなかったが、上からの命令には従わなければならない」
-

● チェックポイントの職員のなかにも水や食べ物を提供する人がいた。「みんな河南省の同郷だしね。見て見ぬふりもした。子どもたちが故郷に帰るんだから」

- 荷台に農民工らを乗せて走るトラックも見かけたという。警察に見つかると交通違反になる。

チェンチウメイ
陳 秋梅

- 10 月中旬に５階建ての寮で陽性者が一人出て棟全体が１０日間隔離。その後、仕事に戻った。まったく何もなかったのように。「他の町ではロックダウンなどで人っ子一人いない町もあるが、フォックスコンはまるで別の世界のように感じた」。
- 10 月 29 日、チウメイは夜勤を終えて寮に戻って、午後 3 時まで寝る。実家からの電話で起こされた。「はやく逃げろ」「はやくしないと逃げられなくなる」という。ほかの同僚も慌てていた。すぐに飛び起きてリュックにパンを詰め込んで、寮にあるお店でインスタント麺、ヨーグルト、ペットボトルの水、ソーセージを買い込んで、ダウンを羽織って出発。

- フォックスコンは鉄のパネルで封鎖されており脱出できず１時間ほどウロウロとしていたが、助けてくれた人が抜け穴を教えてくれた。暗くなっていたがバイクのライトで照らしてくれた。「はやく逃げろ」と。
- 陳秋梅チウメイは携帯のナビの使い方を知らず、なるべく高速道路から離れないようにしながら、コロナ感染を警戒する地域住民を避けながら、同郷人に道を聞きながら、フォックスコン工場の南東 45 キロにある故郷の尉氏県に向かった。なるべく休憩をとらずに。木の枝を杖にして歩いている人もいた。

- 幸い、沿道には前に歩いていた人たちや地域住民らが置いてくれた水や軽食などがあった。
- 10 月 30 日早朝 6 時、一昼夜歩き続けて実家のある尉氏県の防疫チェックポイントに到着し、PCR 検査の後、朝 9 時にバスで実家に戻った。バスには 40 人ほどの同郷がいたが、のちにうち一人が陽性だと発覚した。しかし「フォックスコンでもう慣れたので怖くない」

工場に残った労働者

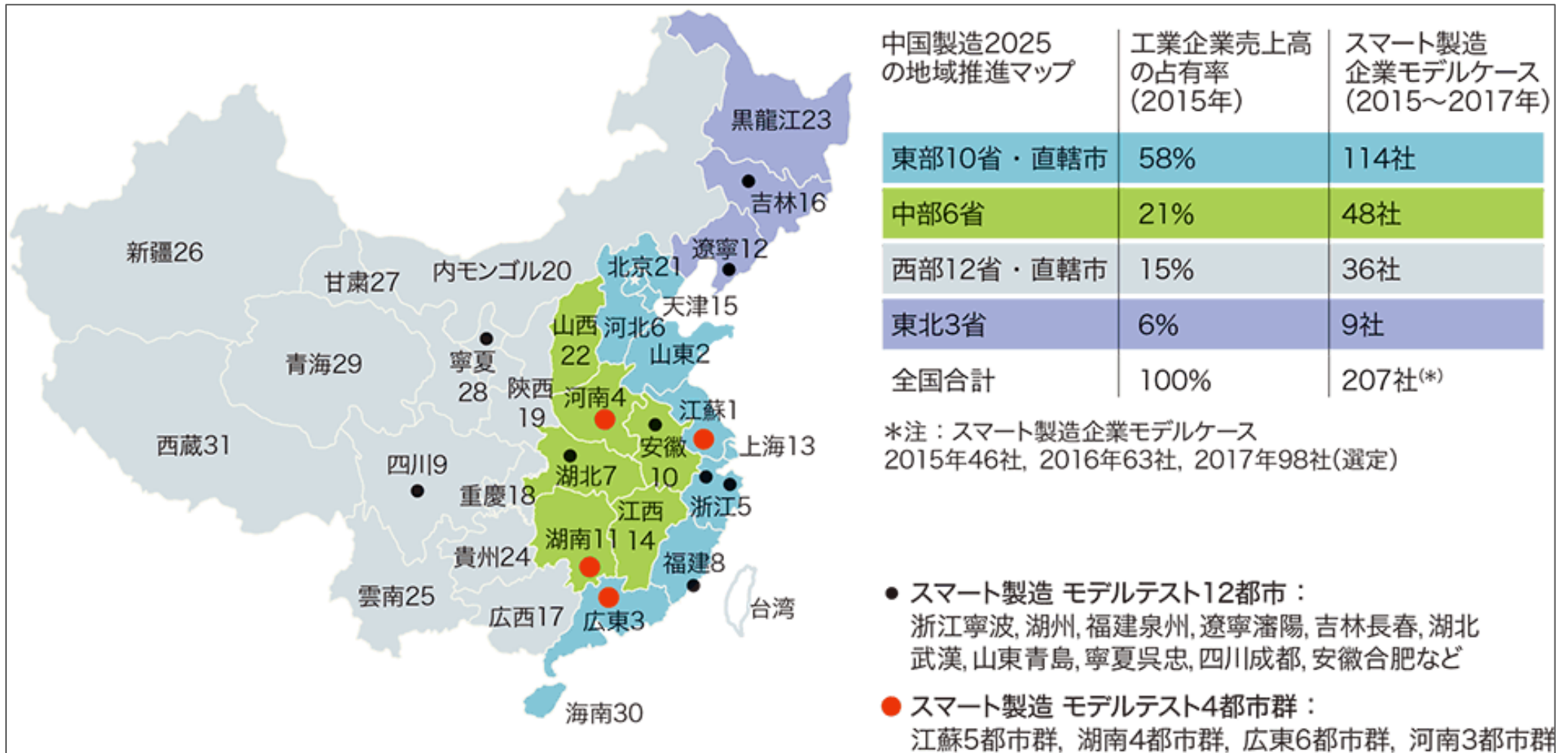
他の労働者の証言では、フォックスコンでの最後の数日は、PCR 検査もめちゃくちゃで抗原検査だけだったが、実家にもどったら 7 日間の隔離、毎日の PCR 検査、1 日二回の検温報告という従来通りの対応に安心したという。

- 陳怡（チェンイー）は、工場にとどまった。「フォックスコンでは陽性にならなければ働けということ」「陽性者との濃厚接触者でも働く」。10 月に入ってから陽性者が続出し、薬などが買えず、食糧なども入手できなかったこともあったが、だれも責任をとらない状態が続いたことが、「逃避行」を拡大させたという。チェンイーも歩いて逃げようとしたが、逃避行後まもなく携帯のバッテリーがなくなり「外で凍え死ぬのはいやだった」ので宿舎に戻った。
- 結局どれほどの労働者がフォックスコンから逃避行を図ったのかは不明。ロックダウンされると清掃工らも仕事を辞めたので、ゴミが溜まるいっぽう。

- フォックスコンは雇用維持ために、出勤したら1日400元の手当てを出すと政策。また10/26-31までの期間は1日120元の手当。11/1から11/30までに25日以上働いたら5000元の皆勤手当てを新設。

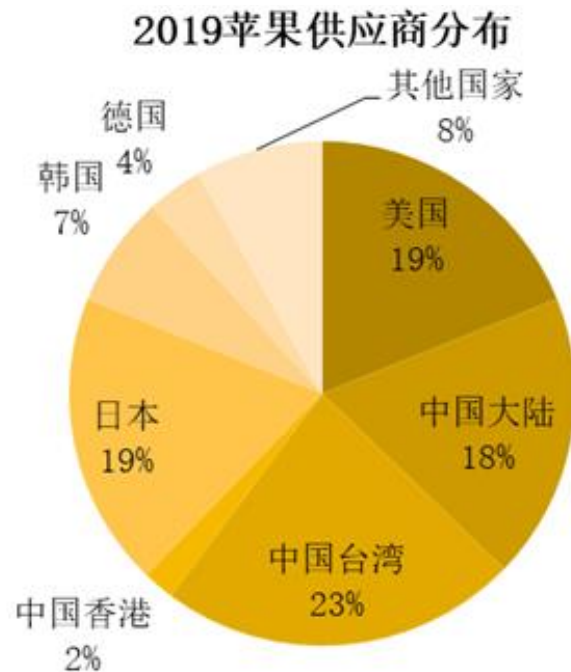
- 11月皆勤賞なら、15000元の給料になる。平均3500元の見習工の羅珊ルオシャンにとっては想像もできない。陳秋梅チウメイのスマホにも「工場に戻らないと離職したとみなす」という会社からのメッセージが入ったが、村長をつうじて離職手続きをした。すでに3カ月皆勤賞の9000元を受け取っていたので、もう戻る意味もなかった。

フォックスコン鄭州とスマホのサプライチェーン

中国製造2025の地域推進マップ	工業企業売上高の占有率(2015年)	スマート製造企業モデルケース(2015～2017年)
東部10省・直轄市	58%	114社
中部6省	21%	48社
西部12省・直轄市	15%	36社
東北3省	6%	9社
全国合計	100%	207社(*)

日立論評 2017 年：進化し続ける「世界の工場」～「中国製造 2025」に見る製造強国戦略より
https://www.hitachihyoron.com/jp/archive/2010s/2017/06/gir/index.html

- 鄭州は従来は紡績、石炭が中心だったが衰退。政策的に電子産業を育成へ。

- 雑誌『財経』系列の記事：フォックスコンは、中国に 44 の工場地区があり、そのうちの半分で iPhon を製造。三分の一で最新の iPhon 製造能力がある。80％の iPhon14 が鄭州で生産されている。鄭州にハイスペック製品のラインが集中しており、すぐには代替がきかない。
- 2021 年の河南省の貿易総額は 83.1％増加して 326.4 億元になったが、フォックスコン関係の貿易総額は 94.7 億元で、3 割近くを占めた。
- フォックスコン鄭州は世界中の iPhone の 50％を生産。90 本の生産ラインで 35 万人が働く。地元政府にとっても重要な産業で、取引総額は鄭州市の 80%、河南省全体の 60%を占める。中国で製造される携帯電話のサプライチェーンの輸出額において、フォックスコン鄭州の輸出額は三分の一を占めるという。
- 依然として利益率の低い労働集約型の作業を中国に集中させるというビジネスモデル。

「iPhone 十二年，难以说再见」2019-09-11、朱雀基金（https://bit.ly/3EYSW1k）より

- iPhone を分解して分かったアップルにとって重要なサプライヤー（2021 年 7 月 6 日）
「アップルが 21 年 5 月末に公表した 2020 年のサプライヤートップ 200 に中国メーカー12 社が新たにランク入りし、中国メーカーが全体に占める割合は 19 年の 52%から 57%に上昇した。」「01.チップ、ディスプレイ、メモリーの三大コア部品は米日韓が握る」「iPhone 12 Pro Max を実際に分解してみると、中国のサプライヤーは唯一『恵州徳賽電池（DESAY)』が入っているものの、それ以外は米国、韓国、日本などの企業が主で、米国のサプライヤーが絶対的な地位を占めていることが分かった。」「新たに加わった 36 社のサプライヤーのうち中国企業は 12 社あったが、これらの企業の主要業務は素材、機構部品に集中していた。」
https://36kr.jp/139987/
- 無数にいる農民工、数か月での入れ替え可能、農民工も数か月でやめても、まだ自留の農地があるな、）他には代えがたい場所になっているとも言える。
- フォックスコン鄭州全体の労働者 30 万人のうち 25 万人が派遣など不安定で入れ替わりの激しい労働者。なによりも労働者を押さえつける権力が末端レベルにまで貫徹している。
- 梁鴻『出梁荘記』（2016 年）のインタビュー参照

- フォックスコンの連続飛び降り自殺：

  https://bit.ly/30Fcj9G　wiki より

その後

●11/1：河南省省長・王凱が工場を視察（省のトップは党委員会書記の楼陽生） https://bit.ly/3EVfrnX

●11/18 報道：フォックスコンに 10 万人の応募　募集は一時停止（澎湃新聞 2022-11-18） https://bit.ly/3tR2bdA
※年末クリスマスセールにむけて毎年人手不足になるので政府が人員を募集し 10 万人が応募。すべてが雇用されるわけではない。人が多くなれば感染リスクも上がり、対策人員も必要になることから当面は募集を停止。17 日にフォックスコンが発表した募集要項は派遣で時給 30 元、一週間以内の退職者は時給のみ、11/9-26 の期間中に雇用され 15 日間の契約満期の後、隔離 4 日間の生活補助金（1 日 400 元、15 日未満で離職したものは 1 日 100 元)、30 日満期で 3000 元の特別手当、60 日目にはさらに 3000 元。退職後に再度雇用された場合は 500 元の奨励金（一回のみ)。

●11/11 報道：河南省政府　各村から一人をフォックスコンに出すよう指示 https://bit.ly/3Vm8fGJ
村のトップの党書記がフォックスコンを辞めた労働者に電話をかけてリクルート。河南省には（47 万 7556 の村委会がある。河南省対外労務合作公司ウェブより　https://bit.ly/3Xs5xRJ ）
●11/21 報道：人手不足に政府の支援　退役軍人と党員の動員も（2022 年 11 月 21 日）
https://cn.nytimes.com/technology/20221121/apple-foxconn-china/

🍎アップルに事実と補償をもとめる国際署名 https://bit.ly/3hmJDPz

全世界の iPhone の約半分が中国鄭州のホンハイ（台湾企業）で製造されています。ここで発生したコロナ感染とそれに伴う隔離措置。従来より非人道的な管理体制が問題視されていましたが、今回の件でどれだけの労働者がコロナに感染したのか、その補償はどうなっているかなどは明らかにされていません。真相究明と適切な補償を求めるウェブ署名が呼びかけられています。

アップル社は社会的責任を果たし
鄭州 iPhone 工場の真相を究明してください

Apple must investigate Zhengzhou's Foxconn factory // 要求苹果公司承担其社会责任，彻查郑州富士康事件

631 人が賛同しました。もう少しで 1,000 人に到達します！

1,000 の賛同で,このキャンペーンはページ上のおすすめに表示される可能性が高くなります！

今すぐ賛同

姓

名